

# ストップ再稼働

海に空に放射能を捨てないでください。

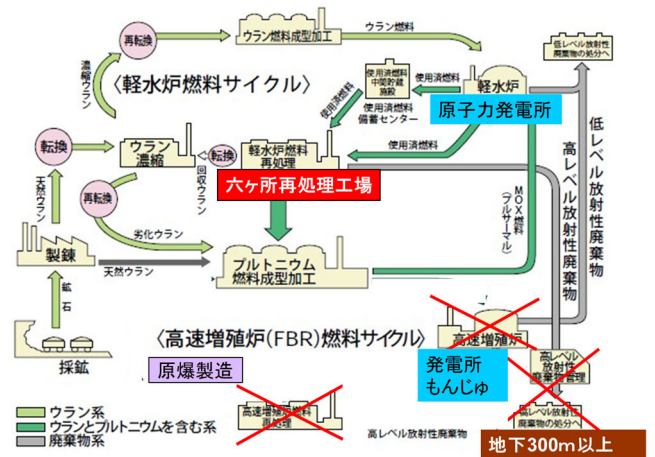


## 破綻している「核燃料サイクル」

- 高速増殖炉もんじゅの破綻とプルサーマル計画の破綻。
- 決まらない、決められない高レベル廃棄物処分場。
- 計画倒れで、使用できないプルトニウム。
- 日本が既に47トンも保有しているプルトニウム。原爆の原料なので、国際的に嫌疑の目が向けられています。
- 仮に今秋に完工しても、フル稼働(年間800トン再処理)が許されない六ヶ所再処理工場。プルトニウムの生産調整が続きます。再処理工場は開店休業になります。

## ウソを秘密で隠す安倍政権

- 六ヶ所再処理工場は、使用済み燃料の保管プールとしてのみ存在意義があります。騙されている国民。
- 安くない原子力発電。放射能汚染されているMOX燃料。
- 被曝を続ける原発労働者と廃炉労働者。被曝の影響を実際よりも過小評価して、事業者の責任と賠償金を減らすようにしています。



## 福島の大惨劇を繰り返す再稼働

- 原発推進県だった福島の惨状を直視しましょう。
- 人が住めない大地と故郷の喪失が繰り返されようとしています。
- 原発を再稼働したら、繰り返す事故は必然になります。
- 国民の願いは、一致して「脱原発」です。

## 青森県だけに使用済み燃料の保管・処理を全て押し付けています

- 全国原発の使用済み燃料プールは、ほぼ満杯です。
- すでに六ヶ所再処理工場に約3000トンの使用済み燃料があります。
- 青森県に核廃棄物を運び込まなければ、全国原発は動かせません。

## 原発なしで1年間暮らしました

- 今年9月15日ですべての原発が停止して1年間が経過しました。
- 原発がなくても停電も電力不足もありませんでした。
- 原発が必要というのは、真っ赤なウソでした。
- みんなの力で、日本全国の原発の再稼働を止めましょう。



わたしたちは、(略称：阻止ネット)

**「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク**

です。これまでの活動は裏面をご覧ください。

# 「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク これまでの活動

- ① 賛同団体・個人を募っています。2010年8月8日時点で、649団体・個人。
- ② 「六ヶ所再処理工場の本格稼働に反対し、その中止を求める」署名活動。  
岩手県内の6つの漁協による「豊かな自然を放射能で汚さないでください」という署名も一緒に取り組みました。いずれも、内閣総理大臣と経済産業大臣の連名の宛先としました。
- ③ 「メッセージカード」の頒布。内閣総理大臣、経済産業大臣、青森県知事、六ヶ所村村長、の4者宛てのカードを1組にして、購入者がメッセージを添え切手を貼って投函する活動。10万組配布済み。
- ④ 六ヶ所村の環境試料を採取して放射能の自主測定を行ない(2009年2月、2010年2月の2回)、日本原燃と青森県のモニタリングを点検する活動を始め、いっぽうで再処理工場が本格稼働してしまう場合も想定して、放射能の警戒基準を策定して呼びかけ団体6団体で共有しました。
- ⑤ 車両用マグネットシートを作成し、頒布中。1万5千枚。デザインを公募し、「ストップ再処理」の広報活動の一環とする。
- ⑥ 集会等開催  
2007年7月28日 「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク発足の「キックオフ集会」。  
東京・ドイツ文化会館にて、約300人参加。  
2007年8月25日 青森集会。青森市文化会館にて、約350人参加。  
2008年1月27日 日比谷野外音楽堂にて集会、約2000人参加。集会後東京駅周辺をパレード。  
2008年1月28日 参議院議員会館内会議室にて集会と署名提出。200人を超える参加、国会議員(秘書含め)29人出席。  
「サーフライダー・ファウンデーション・ジャパン」が共催。  
2008年3月12日 参議院議員会館内会議室にて集会と第二次署名提出。  
約150人参加、国会議員(秘書含め)32人出席。  
提出署名数(1/28と合算)阻止ネット 446, 642筆、岩手県6漁協 402, 703筆  
2008年6月12日 参議院議員会館内会議室にて集会、井川陽次郎読売新聞論説委員講演と意見交換。  
約80人参加、国会議員(秘書含め)17人出席。  
2008年11月29日 ドイツ文化会館にて集会、「ストップ再処理 市民集会～六ヶ所再処理工場の問題をあらためて問う」開催。  
約220人参加。  
2009年8月29日、仙台市にて、放射能自主測定結果に関する意見交換会、約90人参加。  
その後、呼びかけ団体提携生産者、阻止ネット賛同団体に放射能測定結果を報告した。  
2010年7月14日 飯田橋セントラルプラザにて学習会「もんじゅ運転再開と問題点」、約70人参加。  
2010年9月4日 東京ウィメンズプラザで集会「ストップ再処理2010 海に空に放射能を捨てないで！」開催、約260人参加。  
「六ヶ所ラブソディエー続編」上映と鎌仲ひとみ監督の話、菊川慶子さんとの対談、2009年度の放射能自主測定の結果報告など。  
2011年9月19日 東京日本教育会館にて集会「ストップ再処理2011 脱原発宣言」開催、約650人参加。  
2012年2月11日 1000万人署名一斉街頭署名活動。  
2012年3月24日 東京日本教育会館にて集会「六ヶ所再処理工場廃止・脱原発社会の実現に向けて」  
飯田哲也さんのお話し、約250人参加。終了後、日比谷野音の集会に合流。  
2013年4月24日 参議院会館講堂にて集会「脱原発へ向かう政治を地域から」金子勝さん、鈴木悌介さんにお話しを伺い、  
脱原発基本法制定に向けワークショップを開催、120人参加。  
2013年12月1日 水道橋YMCAアジア青少年センターホールにて映画「福島 六ヶ所 未来への伝言」を上映、その後集会  
「六ヶ所再処理工場と核のゴミ問題を考える」で永田文夫さん、伴英幸さんのお話し、約100人参加。  
2014年5月9-11日 六ヶ所再処理視察ツアー(19人参加)。核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団や花とハーブの里。  
2014年5月21日 阻止ネット脱原発フォーラム(院内集会)を開催。鎌田慧さん、伴英幸さんの講演、核燃料サイクル。

## 呼びかけ団体

2014年4月1日現在

団体名	代表者	事務所所在地	会員等概略
生活協同組合 あいコープみやぎ	理事長 小野瀬裕義	宮城県 仙台市	店舗を持たず共同購入と個人宅配で、地場の産直品を主に扱う生協。 仙台市を中心に組合員約1万5千人。
グリーンコープ 共同体	代表理事 田中裕子	福岡県 福岡市	西日本14府県にある会員生協とグリーンコープ連合およびグリーンコープ共済連の連帯組織、組合員約37万人。
生活クラブ事業連合 生活協同組合連合会	会長 加藤好一	東京都 新宿区	21都道府県にある32の地域生協と生活クラブ共済連合会が会員となっている連合会。組合員約34.6万人。
大地を守る会	代表 藤田和芳	東京都 港区	有機農産物と無添加食品の流通。利用者数約116,000人。会員は首都圏を中心に約9万人。
特定非営利活動法人 日本消費者連盟	共同代表 真下俊樹	東京都 新宿区	全国個人会員約1,300人。
パルシステム 生活協同組合連合会	理事長 山本伸司	東京都 新宿区	1都9県にある10の地域生協とパルシステム共済連合会が加盟する連合会組織。組合員約130万人。